

修士論文（要旨）  
2020年7月

中国人日本語学習者のメタファー表現理解過程について  
—概念メタファー、イメージ・スキーマと母語知識を中心に—

指導 齋藤伸子 教授

言語教育研究科  
日本語教育専攻  
218J3903  
楊 超

Master' s Thesis (Abstract)

July 2020

A Study of the Understanding of Metaphor Expressions by Chinese Learners of Japanese Language: Focusing on Concept Metaphor, image, Schema, and Mother Tongue Knowledge

Chao Yang

218J3903

Master' s Program in Japanese Language Education

Graduate School of Language Education

J. F. Oberlin University

Thesis Supervisor: Nobuko Saito

## 目次

第1章 序章.....	1
1. 1 研究背景.....	1
1. 2 研究目的.....	1
第2章 先行研究.....	2
2. 1 メタファー.....	2
2. 2 概念メタファー理論の概観.....	2
2. 3 イメージ・スキーマ.....	3
2. 4 母語知識とメタファー理解.....	4
第3章 研究課題と仮説.....	5
第4章 研究概要.....	6
4. 1 メタファー表現理解テストの作成.....	6
4. 2 予備調査の実施と本調査への準備.....	7
4. 3 本調査の実施.....	9
4. 4 分析方法.....	10
第5章 統計処理と質的分析の結果.....	12
5. 1 統計処理の結果.....	12
5. 2 KJ法による質的分析の結果.....	12
第6章 考察.....	18
6. 1 概念的に共通するか否かとメタファー表現理解の関係.....	18
6. 2 日本語メタファー表現の理解過程.....	18
6. 2. 1 メタファー的思考による理解.....	19
6. 2. 2 非メタファー的思考による理解.....	23
6. 2. 3 メタファー表現理解における問題点.....	26
第7章 まとめ.....	29
参考文献	
資料1 予備調査用記入シート	
資料2 本調査用記入シート	
資料3 インタビュー文字起こし	

近年、概念メタファー理論と応用認知言語学の発展によって、メタファー研究の重要性がますます高まってきた。メタファーは私たちの日常生活の中でよく用いられている。しかし、実際の教育現場ではまだそれを学習者に教えていないのが現実であり、日本語能力の高い人でも必ずしも日本語のメタファー表現を正しく理解できているとはいえない。日本語学習者が日本語のメタファー表現を理解する時の、学習者の思考経路を把握することが重要だと考え、中国人中級日本語学習者を対象に考察を行う。

本稿のリサーチクエスチョンは以下の3点である。

1 日中両言語間で概念的に共有・言語的に非共有、概念的に非共有・言語的に非共有のメタファー表現で、どちらの方が理解されにくいのか。

2 中国人日本語学習者がメタファー表現を理解する際、どの程度、またどのような概念メタファー、イメージ・スキーマの知識と母語知識を運用するか、どのようにメタファー表現を理解するか。

3 メタファー表現理解のプロセスにおいて、中国人日本語学習者が概念メタファー、イメージ・スキーマの知識、そして母語知識を運用するときどのような問題点があるのか。

以上のリサーチクエスチョンを解明するために、筆者は日本語メタファー表現を収集し、独自のメタファー表現理解テストを作り、予備調査を行った。予備調査の結果に基づき、日本語学習者が既に習得した可能性の低いメタファー表現、また示唆に富むようなメタファー表現を取り出して本調査に用いる。本調査はメタファー表現理解テストとインタビュー調査という二つの段階に分け、中国人大学生日本語学習者に実施して結果を分析する。具体的には、第一段階として集計処理を通し、51名の調査協力者のテスト平均正答率や標準偏差などの数値に着目し、概念メタファーが共通することとメタファー表現の理解とどのような関係があるかを考察する。それから、51セットの解答用紙に対し質的分析を行う。筆者が主観的に分析してしまうことを避けるため、インタビューの文字化したデータを第二段階の分析で使い、KJ法でまとめ全体的な傾向を見る。

分析の結果から以下のことが明らかになった。

中国人日本語学習者が日本語のメタファー表現を理解するときの理解の仕組みは、大きく分けると「メタファー的思考による理解」と「非メタファー的思考による理解」という二つの種類がある。

「メタファー的思考による理解」には「概念メタファー知識の運用」と「イメージ・スキーマの運用」がある。概念メタファーの知識を運用する際、日本語学習者は特に体や五感を基盤とした概念メタファーの知識を使いがちだという傾向がある。イメージ・スキーマの運用に関し今回は「起点—経路—到達点」「容器」のスキーマしか観察されなかったが、そのような知識がメタファー表現の理解に役に立つことが考えられる。

「非メタファー的思考による理解」には「母語知識の運用」、「経験による知識の運用」、「日本及び日本語に関わる知識の運用」がある。その中で母語知識、特に漢字の表記からメタファー表現の意味を推測することが多い。漢字知識のほかに、中国語の表現を連想してメタファー表現の意味を考えたり、名詞の種類判断や動詞の共起などといった中国語の知識や歴史的知識を使って考えたりすることもある。母語知識の運用以外に、経験による知識の運用や日本及び日本語に関わる知識の運用も観察された。

なお、中国人日本語学習者が日本語のメタファー表現を理解する時に、以下の四つの問題点が今回の調査を通して発見された。

①「上下」のようなさまざまな概念メタファーがあるメタファー表現に対して、時には異なる概念メタファーの知識を使い、いわゆる概念メタファーの誤用によって、正しく理解できないことがある。

②概念メタファーの形成は体の構成に例えたり、経験によるものであるため、今までの学習経験や日常経験などを通して学習者自身に持たないような独特の概念メタファーの知識が使われる可能性が高い。それによって、メタファー表現を正しく理解できないことが考えられる。

③概念メタファーの中に「人生」や「野球試合」のような抽象的で広い意味を持つ概念が入ると、学習者はそれ自体が分かったとしても実際のメタファー表現を正しく理解するのは難しい。

④同じ概念メタファーに基づいた文でも、理解する時に差が出るときが多い。これは文や文脈の長さが関係しているか、それとも何か他の理由があるかは分からない。更なる考察が必要であろう。

今後の課題として、まず、抽象的で広い意味を持つ概念メタファーをどのように具体的に分けると学習者のメタファー表現の理解を促せるかを解明したい。そして、同じ概念メタファーによってできた2つの文を理解する時、正答率に大きな差が出たことにどのような要素が影響しているかを明らかにする。

## 参考文献

- Lakoff, G., & Johnson, M. (1980). *Metaphors We Live By*. Chicago and London: University of Chicago Press.
- 荒川洋平・森山 新. (2009)『日本語教師のための応用認知言語学』凡人社.
- 石原知英. (2008)「学習者の内観による文学テキスト翻訳プロセスの記述--英語教育への示唆として」『通訳翻訳研究』pp.209～228.
- 金子倫子. (2004)「上下・前後・左右～身体方向性とその意味拡張をめぐる一考察～」『日本認知言語学会論文集』4: pp.370-380.
- 川喜田二郎. (1967)『発想法 創造性開発のために』中央公論新社.
- 小森由里. (2015)「日本語教科書における複合動詞—立教大学文法教科書の分析—」『日本語教育実践研究第2号』pp.55-67.
- 崔 娉. (2015)「日本語の未知漢字語彙の意味推測に見る中国語を母語とする学習者の推測手がかりの利用—漢字語彙の日中対応関係及び L2 習熟度の観点から—」『言語文化と日本語教育』50: pp.61-70.
- 鐘勇. (2013)「中国人日本語学習者のメタファー表現理解に影響する要因 —母語とメタファー基盤に関わる知識を中心に—」『比較社会文化研究』34: pp.1-14.
- 鐘勇・井上奈良彦. (2013)「日本語における上下メタファーの体系構成及びその特徴に関する一考察」『言語文化論究』30: pp.13-26.
- 鐘勇・井上奈良彦. (2015)「中国人日本語学習者のメタファー表現理解力の養成: 授業実践例に基づく考察」『言語文化論究』34: pp.35-51.
- 松村明. (1990)『大辞林, 第2版』三省堂.
- 鍋島弘治朗. (2011)『日本語のメタファー』くろしお出版.
- 鍋島弘治朗. (2016)『メタファーと身体性』ひつじ書房.
- 西村麻希・長野恵子. (2012)「現代青年の友人関係のあり方に関する質的研究 : KJ 法による自由記述の分析を通して」『西九州大学健康福祉学部紀要』43: pp.31-38.
- 平知宏・楠見孝. (2011)「比喩研究の動向と展望」『心理学研究』82(3), pp.283-299.
- 牧野成一・岡まゆみ. (2017)『日英共通メタファー辞典/A bilingual dictionary of English and Japanese metaphors』くろしお出版.
- 榎山 洋介. (2010)『認知言語学入門』研究社.
- 森山 新. (2018)「『上がる・下がる』の意味拡張とその非対称性—上下メタファーによる内緒分析法の確立をめざして—」『人文科学研究』14: pp.55-71.
- 山口真紀・野原佳代子. (2019)「日本研究を行う日本語学習者の 古典日本語読解における語句の意味推測 国内教育機関における古典日本語学習支援の方法を探るために」『言語文化教育研究』17: pp.147-168.
- 李文鑫. (2017)「概念メタファー理論に基づくコロケーションの誤用分析 —「興味」を例として—」『現代日本語研究会』38: pp.83-101.
- 和氣圭子. (2013)「中上級日本語学習者の読解における困難点: think-aloud 法による事例研究」『言語科学研究: 神田外語大学大学院紀要』19: pp.101-115.